



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
ぎぶあっぷしな

第 6 号
令和 6 年 6 月 21 日発行
美杉中学校長

《1 学期のしめくくりに向けて》

修学旅行、職場体験学習、校外学習と忙しかった6月も過ぎようとしています。1 学期も残すところあと1か月。来週には期末テストが控えています。1 年生にとっては、初めての定期テスト。これまで授業内で行ってきた単元テストと違い、テスト範囲も広くなり、戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。

第 4 号の学校だよりで、「どうして勉強するの?」ということについてお話ししました。みなさんは、改めてどうして勉強するのか何かを考えてみましたか? 何事も、目的がはっきりしていないと、意欲が湧いてきませんよね。しっかりとした「目的」を持って、明確な「目標」を立てて、「計画的」に勉強を進めてください。

テストは、その結果で優劣を競うものではありません。それまでの授業や、家庭学習で勉強した内容をどれだけ理解しているかを確認するためのものです。事前の準備ももちろん大切ですが、あとで見直して、次につなげていくことがより大切なことです。間違いがあったら「ラッキー」くらいに思ってください。人は失敗から学ぶ生き物です。間違いや、失敗を必ず次につなげることができる人は『無敵』です。『挑戦』して『失敗』して『成長』していきましょう。

教室はまちがうところだ
みんなどしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか
まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをワラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
あじゃあないか こうじゃあないかと
みんなを出しあい 言い合うなかで
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんな伸びていくのだ

「教室はまちがうところだ」という詩の一部です。

私が、いつも生徒のみなさんに伝えることです。間違ふことや、失敗することは、決して恥ずかしいことでも、いけないことでもありません。自分の苦手や、不得手なこと、理解が不足している部分としっかり向き合い、次につなげていくこと。それを、あきらめずに継続していくことが、自分の未来を切り拓いていくことにつながります。



ちくちく言葉とふわふわ言葉

みなさんは、小学校の時に「ちくちく言葉とふわふわ言葉」というのを考えたことがあると思います。中学生となった今、みなさんの発する言葉はどうでしょうか? 「ちくちく言葉」になっていませんか? 「冗談のつもり」とか、「遊びの中だから」「仲の良い友達だから」と言って、きつい言葉遣いになったりしていませんか? 「相手に言われたから言い返した」自分が嫌な思いをしたのに、相手にも同じことをしていたら、自分も加害者になってしまいますし、負のスパイラルから抜け出せなくなってしまいます。みんなが気持ちよく過ごせるように、「ふわふわ言葉」であられる教室・学校にしませんか。